

# 神戸電子専門学校 2019年度シラバス

## ■科目基本情報

科目名	スクリプトプログラミング	科目コード	9740
シラバスコード	194A12-9740		
授業時数/週	4時間		
開講年次・学期	2年・通期		
必修/選択区分	選択必修		
担当教員	後藤田 徹		
教員の実務経験			
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

## ■科目詳細情報

授業概要	Pythonの文法について学習し、小規模なプログラム作成を通じてプログラムの読解、様々なライブラリの使用方法の習得を目標とする。
到達目標（前期）	Pythonプログラムの基本的な使用方法と文法を理解することを目標とする。 既存のプログラムが読めるようになることを目標とする。 簡単なプロジェクトを実行できるプログラムを制作できるようになることを目標とする。
到達目標（後期）	基本的なフローだけでなく、正規表現を使った検索やモジュールをインポートし的確に使用できるようになることを目標とする。 自分で考えたプロジェクトを実行できるプログラムを作成できるようになることを目標とする。
授業方法	教科書を使用した講義と演習、個別の制作実習
実践的教育の内容	
評価方法（前期）	演習課題の提出により評価100%となります。仕様に合わせて実行できる必要があります。
評価方法（後期）	制作実習の提出により評価100%となります。仕様に合わせて実行できる必要があります。
授業外における学修	特になし
授業計画（前期）	第1週 実習環境設定 Pythonのダウンロードとインストール、実行テストを行います。
	第2週 Pythonプログラムの基礎(1) インタラクティブシェルを使用したPython入門、変数などを理解する。
	第3週 Pythonプログラムの基礎(2) ファイルエディタを使用したPython入門、関数などを理解する。
	第4週 フロー制御(1) フロー制御の構成要素を理解する。
	第5週 フロー制御(2) フロー制御文を理解する。
	第6週 関数(1) パラメータ、戻り値、return文を理解する。
	第7週 関数(2) スコープ、例外を理解する。
	第8週 演習(1) 関数に関するプログラム演習を行う。
	第9週 リスト リスト型、メソッドを理解する。
	第10週 タプル タプル型、メソッドを理解する。
	第11週 演習(2) リストとタプルに関するプログラム演習を行う。
	第12週 辞書 辞書型、メソッドを理解する。
	第13週 データ構造 辞書とリストを使用したデータ構造を理解する。
	第14週 演習(3) 辞書とデータ構造に関するプログラム演習を行う。
	第15週 文字列操作 文字列リテラル、インデックス、スライス、メソッドを理解する。
	第16週 演習(4) 文字列操作に関するプログラム演習を行う。
	第17週 処理の自動化(1) 正規表現を理解する。

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	処理の自動化(2) 正規表現によるパターンマッチングを理解する。
	第19週	演習(5) 正規表現に関してのプログラム演習を行う。
	第20週	ファイルの読み書き フォルダ作成、パス検査、読み込み、書き込みを理解する。
	第21週	演習(6) ファイル操作に関してのプログラム演習を行う。
	第22週	ファイルの管理 コピー、移動、圧縮を理解する。
	第23週	演習(7) ファイル管理に関するプログラム演習を行う。
	第24週	デバッグ 例外、アサート、ログ、ブレークポイントを理解する。
	第25週	演習(8) デバッグに関するプログラム演習を行う。
	第26週	Webスクレイピング(1) Webページのダウンロード、HTMLを理解する。
	第27週	Webスクレイピング(2) HTML解析、データ取得を行う。
	第28週	制作実習(1) すべての授業の学習内容を活かし自由にプログラム制作を行う。
	第29週	制作実習(2) すべての授業の学習内容を活かし自由にプログラム制作を行う。
	第30週	制作実習(3) すべての授業の学習内容を活かし自由にプログラム制作を行う。
	第31週	制作実習(4) すべての授業の学習内容を活かし自由にプログラム制作を行う。
	第32週	制作実習(5) すべての授業の学習内容を活かし自由にプログラム制作を行う。
	第33週	制作実習(6) すべての授業の学習内容を活かし自由にプログラム制作を行う。
	第34週	制作実習(7) すべての授業の学習内容を活かし自由にプログラム制作を行う。
教科書・教材	「退屈なことはPythonにやらせよう」 オライリー・ジャパン：ISBN978-4-87311-778-2	
参考文献・資料	特になし	
履修上の留意点	特になし	